

2016年8月10日

国税庁酒税課 御中

特定非営利活動法人 ASK 代表 今成知美  
主婦連合会 会長 有田芳子  
アル法ネット 代表 丸山勝也

## ウェブCMにテレビCMと同じ自主基準を求める要望書

8月2日に公開された麒麟ビールの「麒麟氷結」ウェブ限定アニメCMを視聴して驚愕しました。テレビCMではありえない内容だったからです。

ストーリー仕立てのアニメ。ゲーム・アニメ・SNS・声優アイドルなど若者文化を飲酒シーンにからめており、人気の声優を登用しています。登場人物は21歳の声優と25歳のイラストレーターの姉妹、21歳の男子大学生2人という設定。姉は自宅で仕事をしながら飲酒も。

明らかに若者層がターゲットで、未成年に大いにアピールする内容です。

実際、このCMが掲載されたYouTubeには、「未成年飲酒禁止されてるのに未成年が好きそうな内容でcm作るのはいかがと思うんだけど・・・」という視聴者のコメントがついていました。

同社ARP室に強く抗議したところ、「ウェブCMは年齢認証ができるので、不特定多数を対象としたテレビCMとは異なる。この内容でテレビCMをやるつもりはない」「登場人物が25歳以上という自主基準はテレビCMに限定されている。ウェブCMには適用しないというのが業界の判断。そのため20歳以上の設定にした」との見解でした。

しかし、ウェブ上の年齢認証は絶対的なものではありません。



フェイスブックで特設サイトをシェアすると左のような絵柄が表示され、未成年のアカウントからもふつうに見ることができます。これだけでも大問題です。クリックすると、「20歳以上ですか?」と表示されますが、単に「はい・いいえ」の選択があるだけです。また今回のアニメCMは、ニュースサイトから年齢認証せずに視聴できました。

ウェブ上の年齢認証の徹底など不可能なのです。

「ウェブCMにもテレビCMと同じ基準が求められる」というのが、私たちの見解です。

「この内容でテレビCMをやるつもりはない」のなら、ウェブCMもやらないでいただきたいと、麒麟ビールには速やかな中止を求めました。

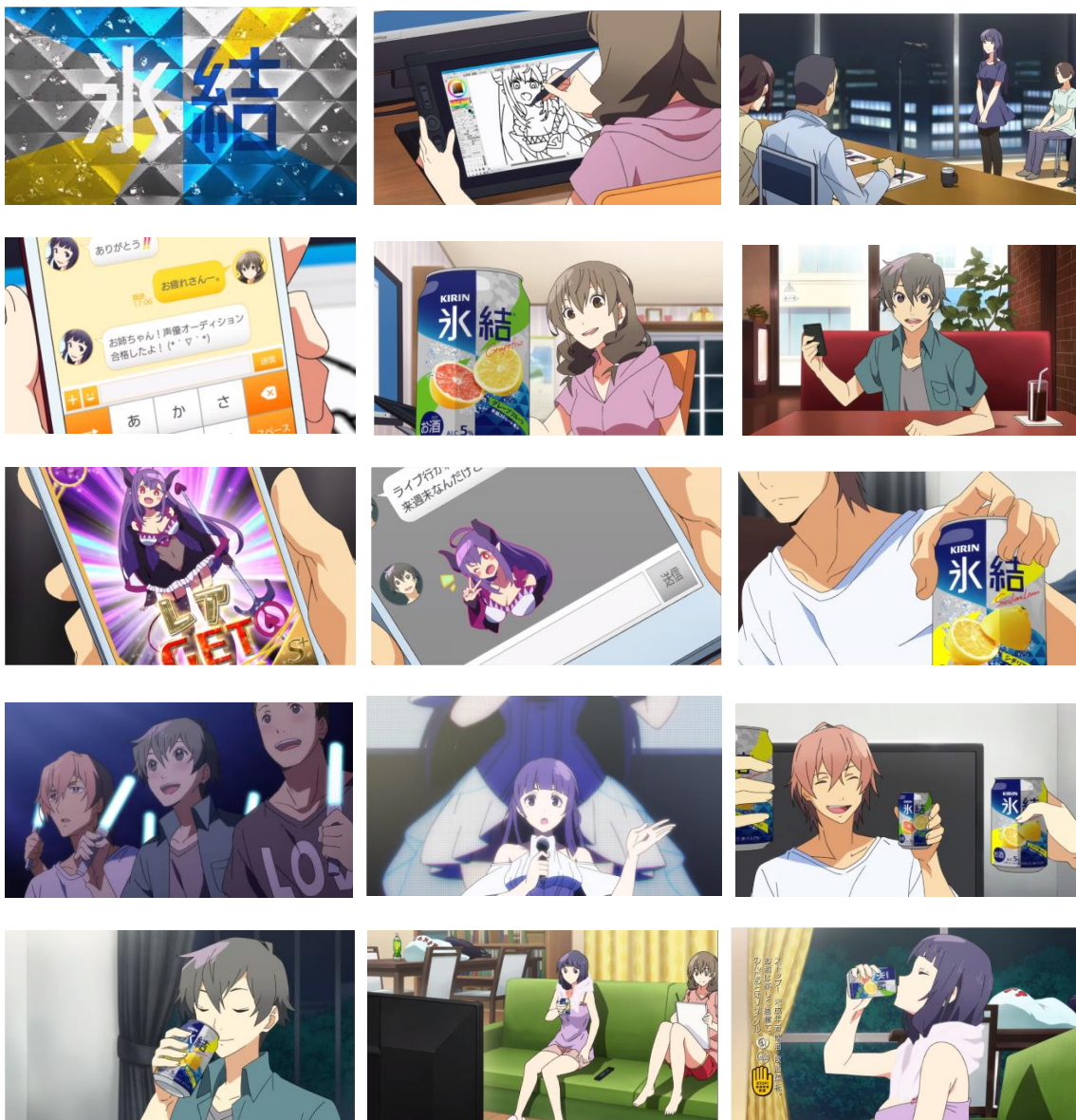
世界には、アルコールCM自体が法律で禁止されている国、飲酒シーンを自粛している国など、酒類CMに厳しい枠組みがあります。

日本の自主基準は世界に比べて非常に甘く、アルコール健康障害対策関係者会議でもその指摘が相次ぎました。そのため、酒類業界全体で改善を検討し、世界基準に少しでも近づけるために、7月1日の「酒類の広告・宣伝及び酒類容器の表示に関する自主基準」の改定につながったと評価していました。にもかかわらず、早々に、このような問題が出てきたのは残念です。

同基準には、「本基準の不断の見直しを行なうなど社会的な要請への更なる対応を期する必要がある」と記されています。ウェブCMは、かねてより検討課題になっていたはずですが。

今回の経験をもとに、業界全体で、ウェブCMの基準強化を図るよう強く望みます。

監督官庁として、ご指導をよろしくお願いいたします。



#### 登場人物の設定

**アンナ**……25 歳。美術大学を卒業後、グラフィックデザインを先攻していたが全く関係のない事務職に就職。しかしアニメ好きがこうじてイラストレーターになる。イラストレーターになってからは独特の絵柄が評価され、現在はゲームのイラストを多く担当している。毎クールやっているアニメは全てチェックをし、常に自分の中のランキングをブログで公開している。そのブログの内容はかなり的確なので、ファンも多い。

**サキ**……21 歳。高校を卒業後、人を楽しませる仕事に就きたいと思い、某大手遊園地のキャストになる。ある日、姉であるアンナが何気なく流していたアニメを見て、アニメでも人を楽しませる事ができると考え声優を志し、現在は声優、アーティストとして異例の早さで人気を獲得していく。持ち前の明るさ、愛嬌で歌、演技と共に人を楽しませている。ファンからはさちよ、さっちょ等の愛称で呼ばれ、ファンから絶大な支持を得ている。

**チヒロ**……21 歳、大学 3 年生。何をやっても直ぐに人並み以上にできてしまうので、何かに打ち込むという事が特になかった。友人も多く、人付き合いは得意。就職は広告代理店に内定が決まっている。何かに熱中するという事がなかったが、タツヤの強引な進め度とあるソーシャルゲームにハマリ、そこからサブカル、特にアニメや声優に興味を持ち出す。サキのライブに行った後、サキの様なアーティストを世に送り出したいという目標ができ、プロデューサーを目指す。

**タツヤ**……21 歳、大学 3 年生。チヒロと同じ大学で、DTM 同好会に所属。デスクトップミュージックをこよなく愛している。DTM から派生し声優、アニソンにも興味を持ち今ではオタクカルチャー全般に精通する。自分の好きなものを周りに教え広める事を至上の喜びと感じるので、仲のいい友人には好きなものを、熱量を持ってお勧めする。ただ、自分の行為が押し付けがましい事も心の奥では気がついており、友人達が楽しむまで若干の不安を感じている。